

◆私は極度の方向音痴…。慣れないデパートのトイレから出て、自分がどっちから来たかわからなくなり、デパートから出て、自分の車をどこに停めたかわからず右往左往。こんなことが日常茶飯事。なので、旅行もあまりしたことがありません。会社の出張で仙台に行くだけでも、私にとっては大冒険。新幹線や飛行機に詳しくて、大きなキャリーバックを持ってあちこち旅をするなんて本当に憧れます。夢のまた夢だけれど、いつか日本を出てみたいなあと、思います。国境を越えるなんて、方向音痴の私には難しいけど、きっと私の知らないステキなものに出会えるんだろーなと思います。

野辺地町の黒川智美さん

◆ひとり旅をするようになったのは15年前から。「おひとり様」という言葉がまた耳慣れない頃。列車の中から外を見ながら何も考えずボートと…。廻りの声が心地よく、うとうと。目を覚ますと景色が変わっていて遠くに来たと感じる。朝起きてその日の予定が面倒になったら、誰にも気兼ねすることなく即変更！ ぶらぶら歩きながら入ったお店で意外な発見をする。食事は地元居酒屋に入り、その土地の料理を。時にはカウスターに座り店主と雑談。気の合う仲間との旅も楽しいが「ひとり旅」は、自分の臨機応変を試す機会でもある。

上北地域のH・Kさん

組合員の交流コーナー

※「毎年1回は旅行に行きたいね」と、友人とは話をしているのですが、お互いの都合がつかず、なかなかうまくいきません。なので、早いうちに日にちを決めてしまってお金をすすめています。それぞれ家庭や仕事がありますが、その日を目標に日々をすごしています。

八戸市の尾崎雅子さん

てーまは… 旅行 といえは…

5月16日は「旅の日」なのだそう。ということで、今回のテーマは「旅行」(の思い出)。おすすめのスポットや行ってみたいところはどこでしょうか。印象に残っている旅先や、旅先での思い出などもあることでしょうか…



◆新型コロナウイルスの流行など、今年は旅行で東京には行きにくいなあと感じている今日この頃。去年、子どもを連れてキッザニア東京に行きました。様々な職種になりきって体験できる場所です。子どもも楽しんでいましたし、私から見てもここまで再現されているという驚きと感激もあり、家族で楽しめました(写真はソフトクリーム屋さんを体験しているところです)。

むつ市の外井恵さん



◆1月上旬、イタリア旅行に行ってきました。旅行には色々な思い出がありますが、今回はイタリアに到着するまでの事を思い出しています。イタリアまで乗り継ぎで14時間くらい掛かりました。機中で映画を見ていた時、隣の方が突然咳をし、マスクもしてなくて風邪の咳とは思えない様な妙に乾いた異常な咳に思え、もしかして(ちようどその頃、中国でコロナウイルスが広まっていたので)と不安になりました。本人に聞く事も出来ず悶々とし背を向ける事しか出来ず、早く到着するようお願いしました。そんな事もあり、イタリアの滞在中は不安な日々を過ごしました。何事もなく帰国しほっとした不安はありませんが、



もう1ヶ月以上もたち、元気でピンピンしてます。旅行中は行って見たかった色々な所、ミラノ、ベネチア、フィレンツェ、ローマ他、世界遺産観光、全部心に残っています。あれからコロナウイルスが広がり、良い時に行ってきたと安堵しています。これからも元気なうちは、いろいろな所を見たり美味なものを食べたり、良い思い出を作りたいと思います。

青森市浪岡の村田育子さん

◆昨年、息子の大学のオープンキャンパス見学にかこつけ、主人と息子の3人で宮城、山形プチ旅行へ！ 人気アウトレットモールやアミューズメントパークではなく、王道中の王道、宮城は松島、山形は山寺へ！ パンフレットを見ながらチャックポイントを探そうに歩いてめぐる観光地は意外な驚きや感動も多く、まるで修学旅行気分！ ご当地料理も堪能し、大満足の2日間となりました。文句も言わず付き合ってくれた息子に感謝しつつ、今年も便乗してプチ旅行を楽しんじゃおうかなと画策中の私(笑)。息子は付き合ってくれるかな??

六戸町の金沢久美子さん

◆青函高速フェリー「ナツチャン」の定期運行が終了すると聞いた2008年秋、私たち家族は、一度は乗ってみようと急に思い立ち、函館までの日帰り旅行を計画しました。朝、電車で八戸から青森へ。青森でナツチャンに乗り換え、津軽海峡を渡り函館へ。そして五稜郭、函館山、赤レンガ倉庫などを観光し、夜に函館からスーパー白鳥に乗り、これも初体験の青函トンネルを通って帰ってきました。行きと帰りは初体験の楽しい日帰り旅行でした。

八戸市の久保裕子さん

◆組合の「旅行」で近所の農家さんと長野県諏訪市へ行ったのですが、電車のホームを間違えてしまい、途中合流する仲間と合流出来ず、その後、連絡を取りながら大はばに遅れてようやく仲間と合流する事が出来ました。その時、仲間の人達に迷惑をかけてしまったのを覚えていています。今思うと懐かしい思い出となっています。今度は家族で行きたいです。

平川市の高阪祐葵さん

◆高校生の時に国際交流で韓国へ行き、新婚旅行はオーストラリアへ行きました。海外旅行はその2回きり。今は、そんなお金もありませんが、それより飛行機がコワイので行く気になれません。よく行ったな(飛行機に乗れたな)と、不思議です。若かったのね…

八戸市の匿名希望のH.Tさん

◆数年前、同窓会に出席するため乗車した電車で、同年代の御夫婦と知り合いました。フェリーが欠航したため乗車したとのこと。岐阜県の歯科医の夫婦でした。私も歯科勤務経験があり、会話がはずみ、下車するまでずーっとおしゃべりの楽しかった事を思い出します。袖振り合うも多生の縁とは、こういうことなのでしょう。年賀状や県産品のやり取りの度に、電話で昔からの知り合いのように楽しく話してきます。今年の5月、青森まで来てくれる約束。会えるといいなあ〜！

五所川原市の江良博子さん

◆旅行は好きですが、時間とお金がかかるので、もっぱら鈍行でのんびり車窓の景色を楽しみながらのプチ旅行です。津軽線で三厩、大湊線で大湊、青い森鉄道で八戸、五能線で東能代、津軽鉄道で中泊、弘南鉄道で大鰐や黒石。三陸鉄道で盛にも数年越しで行きました。よいリフレッシュになりました。

弘前市の笹田良子さん

◆「伊勢神宮」への参拝。参拝者のなかには正装をして大粒の真珠をつけている方も見られました。鳥居をくぐる時の一礼もみんな自然に行われていて、厳かで清々しい気持ちになりました。参拝をおえ、おかげ横丁で「赤福」の本店をみつけたときには、とてもうれしかったです。

八戸市の小川祥子さん

◆札幌に行ったときのこと。機材練りの関係で帰りの飛行機が欠航！ になり、あわててホテルを探し何とか部屋をとることができました。とてもあわてましたが、仕方ないといきりめ、おいしいラーメン屋さんを探して一泊しました。忘れられない旅となりました。

黒石市の阿部恵美さん

◆4年前、息子が大学野球で鯉ヶ沢に来る事になり、早起きして観戦に出かけました。八戸から十和田湖を通過した時に初めて雲海を偶然見ることができました。今後、こんな早い時間から移動をする事もないでしょうし、最初で最後、二度と出会えない風景かもしれません。旅行らしい旅行に家族で行った事が数少ないので、ドラマのタイトルかのように「私を遠くへ連れてって〜」とお願ひしたいです。

八戸市の吉田浩子さん

青森市の松木真由美さん



◆二女が群馬県の大学を卒業する年、東京に引っ越しが決まり、その引っ越しの手伝いに行った時のことです。荷物を出し終えアパートを引き払ったあと、娘が突然草津温泉に連れて行ってくれました。アルパイトで貯めた精一杯の宿でしたが、ゆつくり温泉につかり、枕を並べて大学生活のこと、これからのこと、いろいろ話してくれました。思いがけない娘からの旅のプレゼントはとても嬉しく、感慨無量でした。また行きたいなあ。